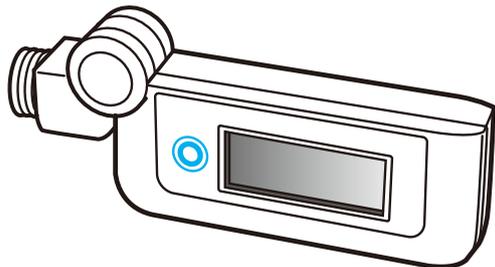


取扱説明書

タニタ電子尿糖計 ユーチェック[®] UG-130-H



本書に記載されているイラストはイメージ図です。

このたびは、タニタ電子尿糖計をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

タニタ電子尿糖計UG-130-H/UG-130-SWの特徴	2
ご使用の流れ	3
安全上のご注意と使用上のお願ひ	4
箱の中身を確認しましょう	7
各部の名称	8
ご使用時の注意	9

準備する	11
スタンドを組み立てる	11
電池を入れる	12
センサーカートリッジを取り付ける	13
基準あわせを行う	15
基準あわせのタイミング	17

測定のしかた	18
尿糖計を持ち運ぶときは	21
携帯時の測定方法	22
センサーカートリッジ交換のタイミング	24
センサーカートリッジの交換	25
測定精度の確認	26
過去メモリを見る	28
電池の交換	29

故障かな？	30
お手入れの方法	31
待ち時間について	31
尿糖計を上手に活用しよう！	32
測定結果を記録する	33
仕様・保証書・アフターサービス	35

タニタ電子尿糖計UG-130-H/UG-130-SWの特徴

特徴 1

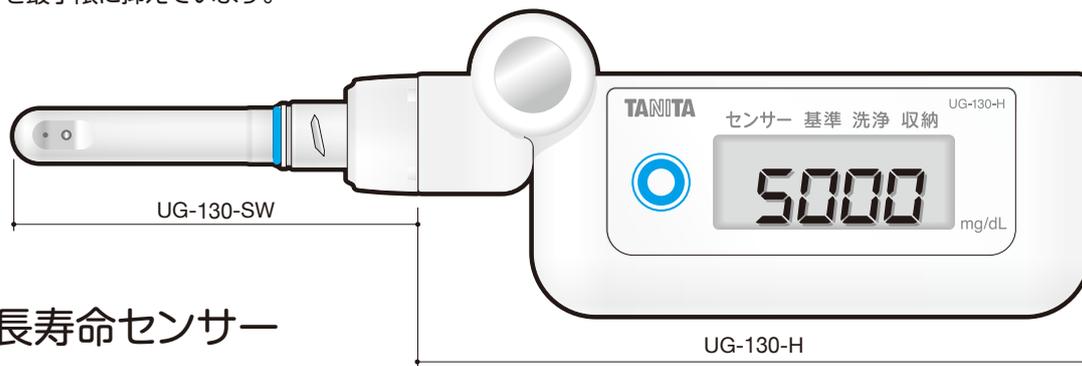
高精度測定

- ・最大5000mg/dLまでデジタル表示
- ・特別な酵素の働きを応用して尿中の糖(グルコース)を電氣的に測定します。(酵素電極法)
- ・尿糖測定に影響するビタミンCなどの成分による誤差を最小限に抑えています。

特徴 2

簡単・高速測定

- ・尿を検出後、たった6秒で測定値を表示。
- ・最新の12回分を記録できる。



特徴 3

長寿命センサー

- ・センサーカートリッジは90日以内に300回測定できる長寿命

特徴 4

無痛測定

- ・採血しないので痛みや感染の心配がなく、継続的に使用できる。

特徴 5

持ち運びにも便利

- ・携帯もできるので、いつでも測定できます。

※イラストは本体(UG-130-H)にセンサーカートリッジ(UG130-SW)を取り付けた状態です。

ご使用の流れ

準備する

- スタンドを組み立てる P.11
- 電池を入れる P.12
- センサーカートリッジを取り付ける P.13
- 基準あわせを行う P.15

測定する

- 測定のしかた P.18
- 携帯時の測定方法 P.22

- 測定精度の確認 P.26

振り返る

- 過去メモリを見る P.28
- 尿糖計を上手に活用しよう P.32
- 測定結果を記録する P.33



安全上のご注意と使用上のお願い

尿糖計を正しく安全にお使いいただくために、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容を示しています。



注意

この表示の欄は「損害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容を示しています。



してはいけない「禁止」内容を示しています。



「必ず守っていただく」内容を示しています。

警告



自己診断による処方調整をしないでください。

本器は尿中の糖(グルコース)を検出するものであり、糖尿病などの専門的な診断を行うことはできません。測定結果のみでインスリン注射量、経口薬などの処方調節をしないでください。自己判断せずに必ず医師の指導に従ってください。



ペースメーカー装着中の方は胸ポケットなどに入れないでください。

本器は磁気スイッチを使用しています。心臓ペースメーカーを装着している方が胸ポケットなどに入れて携帯すると誤動作の危険があります。



電池をお子様の手の届く所に置かないでください。

万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。深夜など、お近くの医師に相談できない場合は右記へ電話して指示を受けてください。

毒性等に関するお問い合わせ先

(公財)日本中毒情報センター 中毒110番
(大阪)072-727-2499(24時間対応)

⚠ 注意

- 
極端に高温・低温の場所に置かない
 (5~40℃で保管)
 センサー部にバイオセンサー*を使用しています。駐車中の車内、航空機の貨物室など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。正しく測定できなくなることがあります。
- 
保存液や基準液を飲まない
 おなかをこわすことがあります。
- 
電池を火中に投げ込まない
 破裂するおそれがあります。
- 
乳幼児の手の届くところに保管しない
 事故やトラブルの原因になります。

お願い

- 
スタンドから取り出した状態で尿糖計を放置しない
 センサー部の乾燥により、測定できなくなるおそれがあります。
- 
直射日光の当たる所に置かない
 故障して、正確に測定できなくなるおそれがあります。
- 
湿度が極端に高い場所や低い場所で測定しない
 正確に測定できなくなるおそれがあります。
- 
ヒトの尿以外の測定に使用しない
 動物の尿、飲料物、薬品などをセンサー部にかけないでください。故障の原因になることがあります。
- 
尿糖計を尿糖測定以外の目的で使用しない
 事故やトラブルの原因になります。
- 
保存液、基準液に古いものを混ぜたり、違う液体を混ぜない
 正確に測定できなくなるおそれがあります。

* バイオセンサーとは生物由来の酵素やたんぱく質を用いた化学センサーの総称です。

お願い



尿糖値の変動に注意する

尿糖値は個人差、測定時間(食前・食後)、薬剤の服用、ビタミンCや水分の過剰摂取、肉眼的血尿や細菌尿などにより影響を受けるため、必ずしも重症度と一致しない場合があります。



尿を紙コップなどに受けるときは、排尿直後に測定する

尿の温度が下がると、正確に測定できなくなるおそれがあります。



測定後は、必ずセンサー部を洗浄してから収納する

測定後にセンサー部を洗浄しないと、故障の原因になることがあります。センサー部を洗浄した後は、常にスタンドに戻すか、携帯用保存液ボトルをつけ、センサー部を保存液に浸した状態で保管してください。



センサーカートリッジの交換時は、保存液、基準液トリガーボトルも付属の新しいものを使用する

保存液や基準液が古くなると、正確に測定できなくなるおそれがあります。



保存液に尿が入ったり、汚れたりした場合は、必ず新しい保存液に交換する

保存液が汚れると、正確に測定できなくなるおそれがあります。

廃棄方法



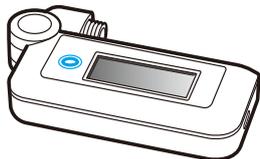
交換により不要となった古いセンサーカートリッジ、電池、ボトルなどは、各自治体の廃棄・処理方法に従って処分する

箱の中身を確認しましょう

本体 UG-130-H

□ 尿酸計本体

センサーカートリッジを取り付けて使います。

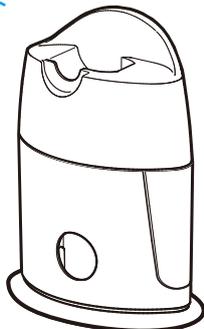


□ カバー

外出の際、このカバーに本体を入れて携帯します。中央の穴は、携帯用保存液ボトルを立てかける際に使用します。



□ スタンド (台座付き)

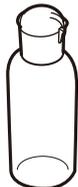


□ スタンド用保存液ボトル



□ 洗浄ボトル

センサー部を洗浄する水を入れるボトルです。水が手に入らない場所で測定する時に携帯します。



□ お試用電池 (コイン型リチウム電池 CR2032)



□ 添付文書

□ 簡単ガイド

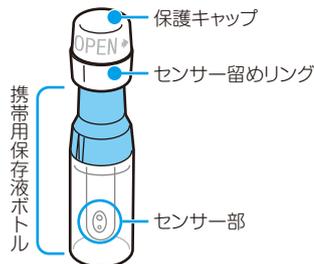
✓ 取扱説明書 (本書:保証書付き)

センサーカートリッジ UG-130-SW (別売)

□ センサーカートリッジ

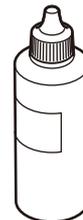
センサーカートリッジは、袋に記載されている開封期限内に使用を開始してください。

本体に取り付けた日から、90日以内に300回の測定ができます。



□ 補充用保存液

保存液ボトルに保存液を補充するためのものです。



センサー部は保存液に浸けた状態で保管します。万一、保存液が不足してセンサー部が浸かっている場合はお客様サービス相談室までご連絡ください。

□ 基準液トリガーボトル

測定値の基準をあわせるために使用するもので、一定濃度の糖が含まれています。



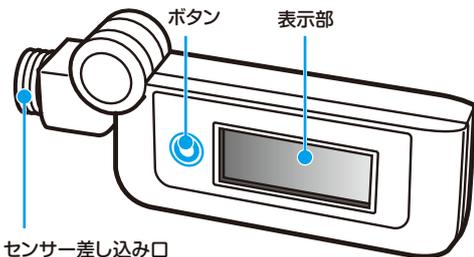
□ 添付文書

ロックを外して使用します。

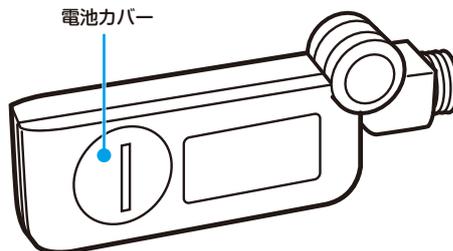
※不足の内容物や追加購入のお問い合わせは、お客様サービス相談室 (☎0120-133821) までご連絡ください。

各部の名称

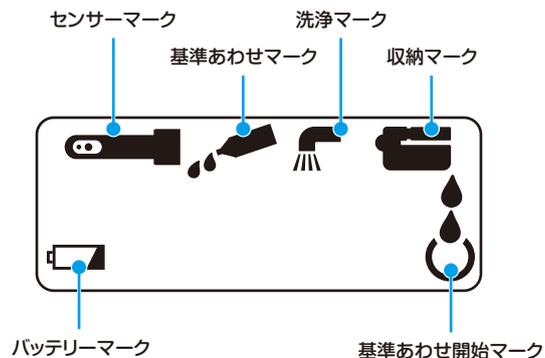
本体(表面)



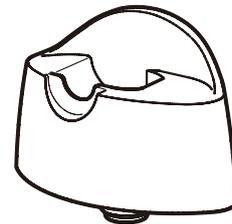
本体(裏面)



表示部

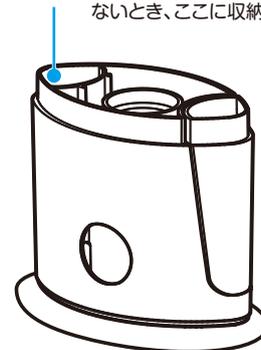


スタンド上部



スタンド下部

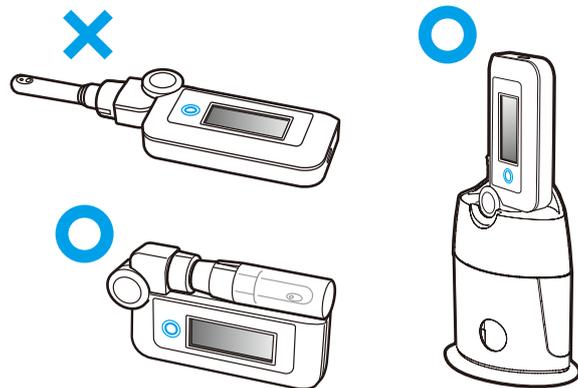
内ポケット:携帯用保存液ボトルを使用しないとき、ここに収納します。



スタンドを持ち運ぶときはスタンド下部を持って下さい。スタンド上部を持つと外れるおそれがあります。

センサー部を乾かさない

センサー部は常に保存液に浸かっている必要があります。



⚠️ 注意

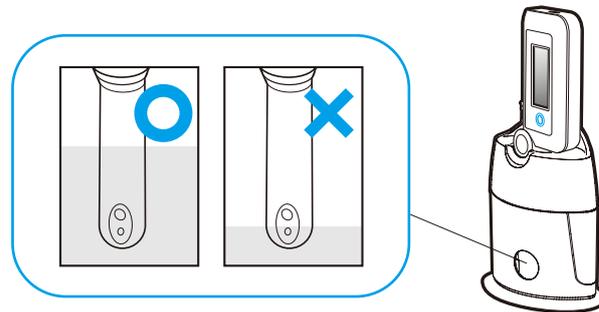
センサー部が乾燥してしまうと、測定できなくなり、故障の原因になります。

❗ 尿糖計をスタンドから出した状態で放置しないでください

尿糖計をスタンドから出した状態で15分以上放置すると画面が消え、ボタンを押すか、センサー部を収納すると「Err」が表示されます。再度使用するには1度洗浄し、1分以上待ってから基準あわせを行ってください。センサー部が乾燥すると測定できなくなり故障の原因となります。ご使用にならないときは必ずセンサー部を収納して保管してください。

保存液の残量に注意

センサー部は常に保存液に浸かっている必要があります。



センサー部が保存液に浸かっていない場合は、完全にセンサー部が浸かるまで補充用保存液を補充してください。すぐに補充できない場合は、水道水を補充し、なるべく早く新しい保存液に入れ替えてください。

⚠️ 注意

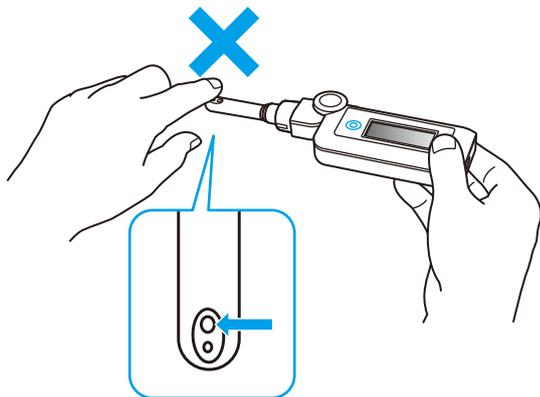
センサー部が乾燥してしまうと、測定できなくなり、故障の原因になります。

❗ 必ず尿糖計の表示部を手前に向けて立て、定期的に保存液の残量を確認してください。

❗ 持ち運ぶときは必ずスタンド下部を持ってください。

上部を持つと下部が外れて保存液がこぼれるおそれがあります。

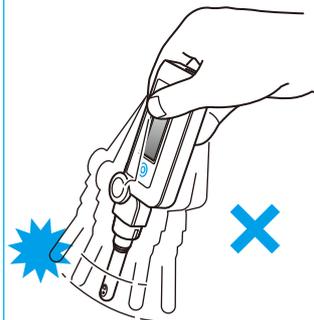
センサーに触れない



! センサーに直接触れないでください。

センサーには測定のために特殊な処理がされています。この部分に傷が付くと測定ができなくなるおそれがあります。センサーカートリッジを取りつけるときなども、センサーには直接触れないように注意してください。また、センサーの洗浄時には必要以上の強い水流をかけないようにご注意ください。

本体を振ったり、叩いたりしない



! 洗浄するときなど、滴を切るために振ったり叩いたりしないでください。

内部に精密機械が入っているため、故障の原因になります。

水濡れにご注意 (丸洗いはできません)



この部分を濡らさない

! 尿糖計の表示部、ボタン、センサーカートリッジとの接続部などは、防水構造ではありません。

洗浄時に水をかけたり、流しや便器に落としたりしないよう、ご注意ください。故障の原因になります。

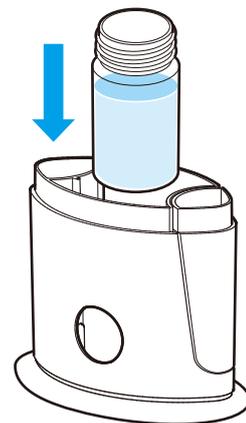
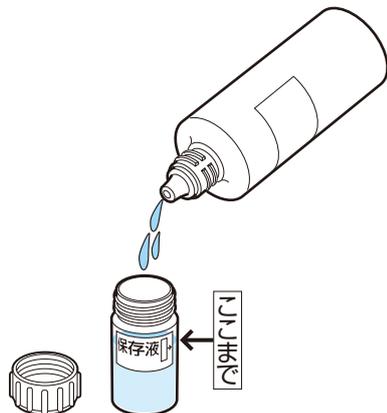
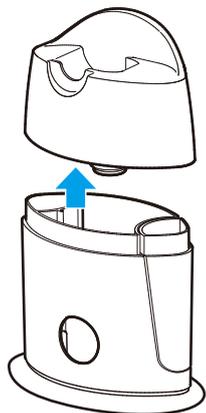
準備する

スタンドを組み立てる

電池を入れる

センサーカートリッジを取り付ける

基準あわせを行う



1 スタンド上部を外す

2 スタンド用保存液ボトルに
補充用保存液を補充する
保存液は、ボトルシールの矢印まで
入れてください。

3 スタンド用保存液ボトルを
スタンド下部に収める

スタンド用保存液ボトルのキャップ

スタンド用保存液ボトルのキャップは捨てずに保管してください。スタンドを移動させる場合などはキャップを閉め、中の保存液がこぼれないようにしてください。

保存液ボトルの収納

スタンド用保存液ボトルのキャップは外したまま収納してください。

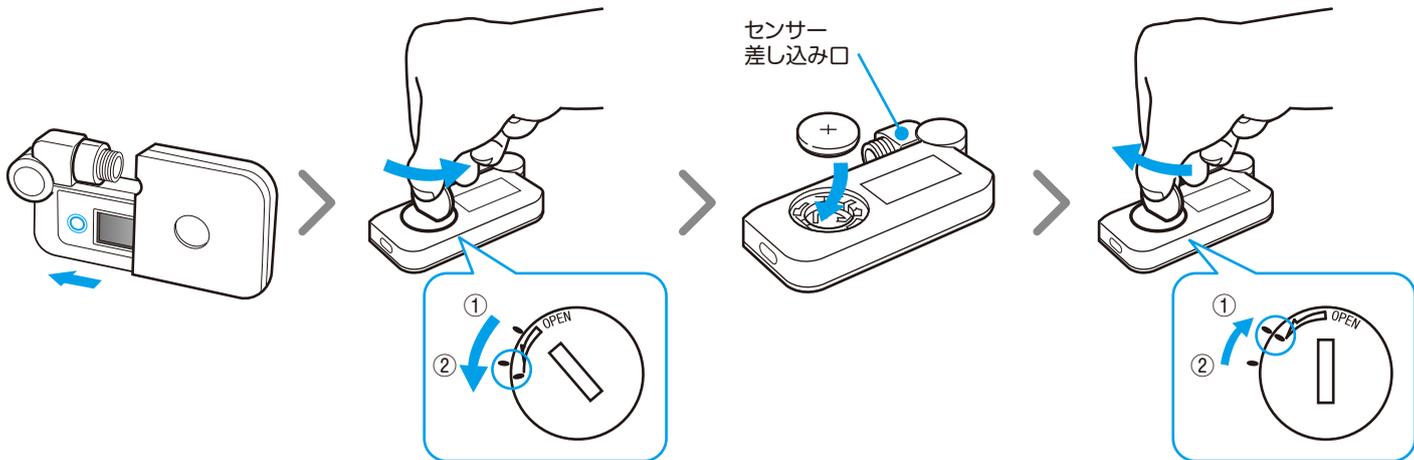
準備する

スタンドを組み立てる

電池を入れる

センサーカートリッジを取り付ける

基準あわせを行う



1 尿糖計本体を
カバーから取り出す。

2 電池カバーを外す。

電池カバーの溝に10円玉または100円玉を当て、
電池カバーのマークが②をこえるように回します。

3 電池を入れる。

・センサー差し込み口は起こさないでください。
・電池は+が上になります。

4 電池カバーをつける。

電池カバーのマークが①に
戻るように回します。

 注意

電池は向きを確かめ、正しく入れてください。
間違えると発熱・故障のおそれがあります。

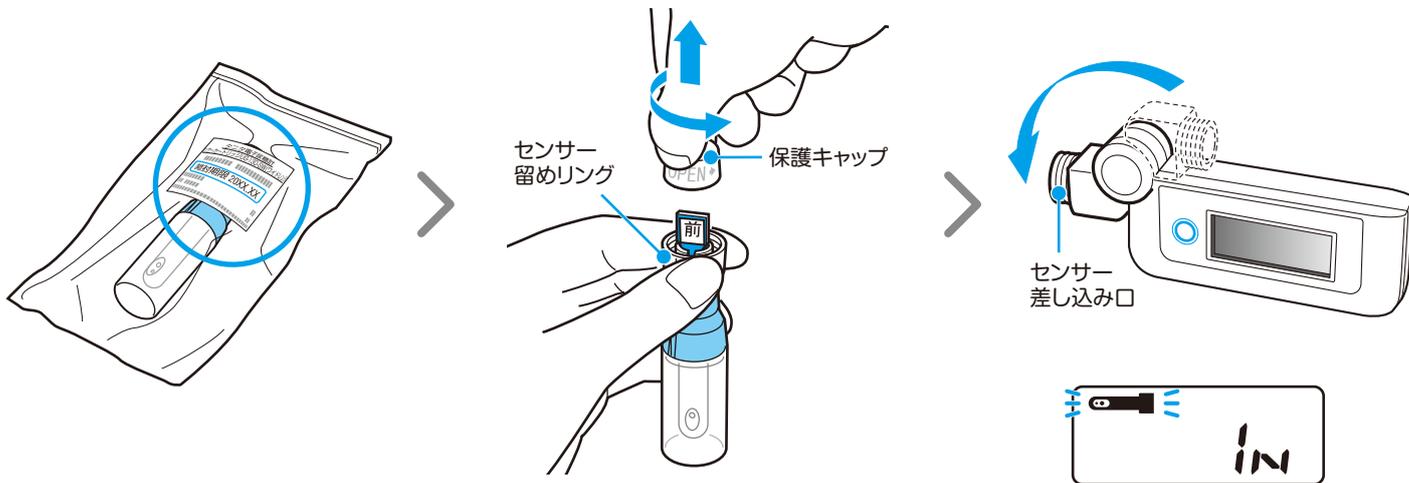
準備する

スタンドを組み立てる

電池を入れる

センサーカートリッジを取り付ける

基準あわせを行う



1 開封期限を確認してから、センサーカートリッジを取り出す。

2 センサー留めリングを押さえて、保護キャップを外す。
外した保護キャップは捨ててください。

3 センサー差し込み口を起こす。

センサーカートリッジについて

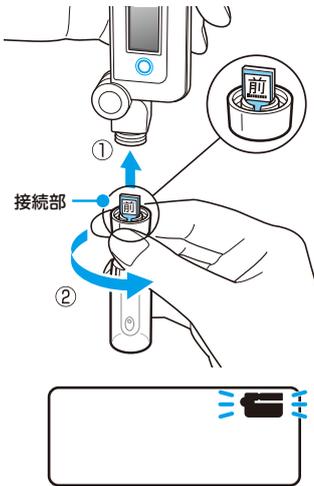
- ・センサーカートリッジは期限内に開封し、使用を開始してください。
- ・センサーには生物由来の酵素を使用しています。開封期限を過ぎたセンサーは精度の保証ができません。
- ・本体に取り付けた日から90日以内に300回の測定ができます。
- ・本体に取り付けると、ご使用にならなくても90日後には使えなくなります。
- ・交換時期が近づくと、電源ON時に「」の点滅表示でお知らせします。(P.24)

⚠ 注意

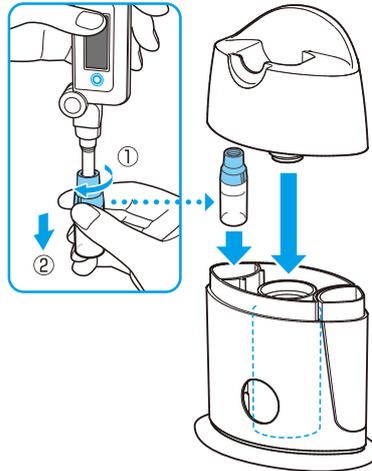
開封期限は尿糖計本体の保証期間とは異なりますのでご注意ください。

準備する

スタンドを組み立てる

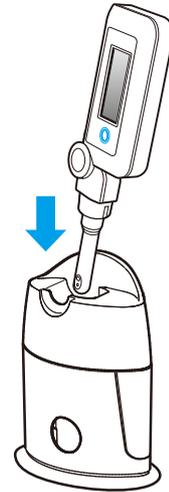


電池を入れる



センサーカートリッジを取り付ける

基準あわせを行う



4 接続部の「前」を手前にして本体に差し込み、センサー留めリングを回してしっかり固定する。

5 携帯用保存液ボトルを外し、スタンド下部の内ポケットに収納する。スタンド上部を取り付ける。

6 スタンドに収納し、3分待つ。
スタンドから取り出すと残りの待ち時間が確認できます。

携帯用保存液ボトル

携帯用保存液ボトルは垂直に持たないと中の保存液がこぼれますのでご注意ください。

スタンドの取り付け

スタンド上部はまっすぐにしっかりと押し込んでください。

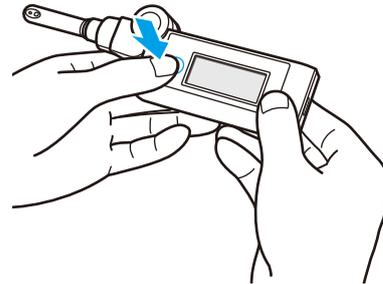
基準あわせ

測定するには基準あわせが必要です。3分後、必ず基準あわせをしてください。

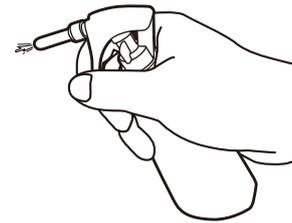
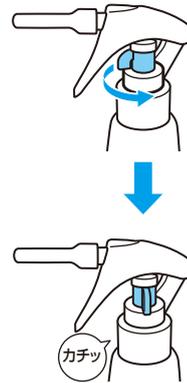
液をかける操作です。液がこぼれてもよいところで行ってください。



1 尿糖計を
スタンドから取り出す。



2 尿糖計のボタンを押す。
「」「」が表示されます。



3 基準液トリガーボトルのロックを外し、
液が十分に出ることを確認する。
十分出ない場合は、3回ほど空打ちをして
ください。

基準あわせの準備

水道がないところで行う場合、あらかじめ紙コップか、付属の洗浄ボトルに水道水をご準備ください。

基準液について

- ・新しい基準液トリガーボトルには約80mLの基準液が入っています。1本のトリガーボトルで約40回の基準あわせができます。
- ・基準液が机などにこぼれたときや、手などについたときはふき取ってください。基準液には毒性、刺激性のある薬品は含まれていません。

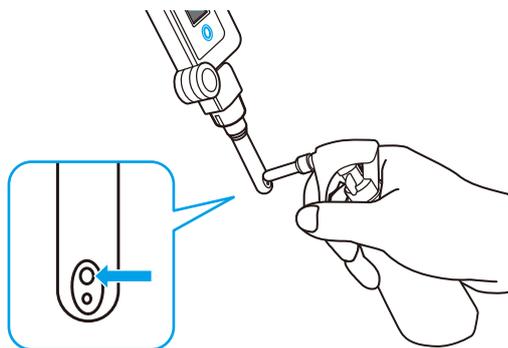


基準液はご使用前によく振ってください。

スタンドを組み立てる

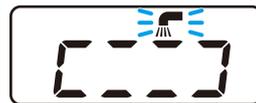
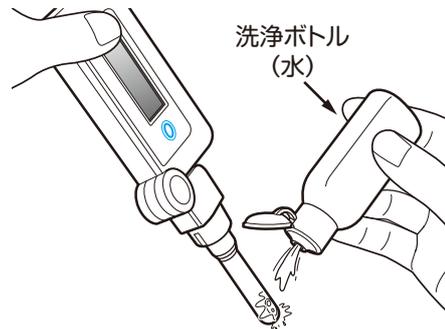
電池を入れる

センサーカートリッジを取り付ける



4 ピピッと鳴るまで、3秒間に3回を目安にふきかける。

センサー部のくぼみにノズルの先端を接触させ、トリガーを十分に引いてください。



5 ピッと鳴るまでセンサー部を洗浄する。

直接水道水をかけて洗浄するか、付属の洗浄ボトルに水を入れ、洗い流します。

❗ 洗浄にあたってのご注意

- ・血糖計本体は防水ではありません。特にセンサーカートリッジと本体の接続部に水がかからないように気付けてください。
- ・トイレ内に水道の蛇口があるときは、直接水道水をかけて洗浄することができますが、水の勢いが強くなり過ぎないように気付けてください。
- ・トイレ洗浄剤などが入っている水では洗浄しないでください。
- ・水道水が赤みを帯びているときや白濁しているときなどは、正確な測定ができなくなります。ろ過フィルターを通した水道水・蒸留水(薬局でお買い求めください)などをお使いください。
- ・水を入れた紙コップの中などで洗浄できます。その場合は、センサー部でかき混ぜるようにしてください。



6 「」が点滅したら
スタンドに収納する。

基準あわせのタイミング

基準あわせは、尿糖計のセンサー感度を補正する操作です。

基準あわせ予告

・7日経過/25回使用後



基準あわせマークが点滅します。
さらに7日間もしくは25回は測定できますが、精度を維持するためにも早めに基準あわせを行ってください。尿糖計をスタンドから取り出し、ボタンを約3秒間長押しすると基準あわせができます。
( P.15、手順2)

基準あわせ

7日
or
最大25回測定



7日
or
最大25回測定



基準あわせ

7日
or
最大25回測定

基準あわせ

・センサーカートリッジ
取付後/交換後
・14日経過/50回使用後
・電池取付後



基準あわせマークが点灯します。
このままでは測定できません。基準あわせを行ってください。(P.15)

これで測定終了です。連続して測定できません。
スタンドから尿糖計を取り出し、待ち時間を確認してください。

・測定まで、30秒お待ちください。
( P.31 待ち時間について)

測定精度を確認するには

P.26の「測定精度の確認」を参照し、基準液の測定を行ってください。

測定のしかた



- 1 尿糖計を取り出して表示を確認する。
「8888」表示後、「0000」が点滅したら測定できます。

以下の場合には測定できますが、早めに指示に従ってください。



基準あわせ予告です。
([P.17](#))



センサー交換予告です。
([P.24](#))

以下の場合には測定できません。



基準あわせが必要です。
([P.15](#))



センサーカートリッジの交換が必要です。
([P.24](#))



「Err」などが表示されるときは尿糖計に異常があります。
([P.30](#))



連続して測定ができません。表示される数値は、次の測定までの待ち時間です。
([P.31](#))

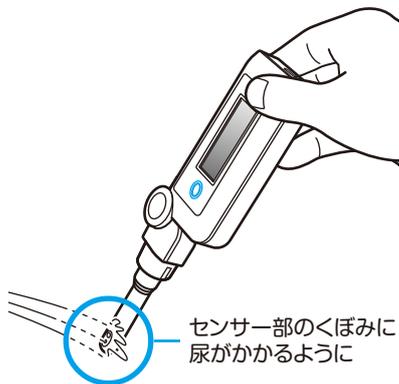
測定の準備

- 表示は、着衣を下ろす前に確認してください。
- 測定後の洗浄のため、予め紙コップか付属の洗浄ボトルに水道水をご準備ください。

尿の測定

センサー部のくぼみに直接尿をかけると、はね飛ぶので気をつけてください。尿がはじめて勢いのあるうちは、はねやすいので勢いが弱まってからかけるようにするとはねを防ぐことができます。

- ご使用のときは、尿のはね飛びを防ぐため、男性も便座に腰を下ろして測定することをお勧めします。
- 尿を紙コップなどに受けても測定することもできます。尿が温かいうちに、尿糖計のセンサー部でかき混ぜるように測定してください。



センサー部のくぼみに尿がかかるように



2 ピピッと鳴るまでセンサー部に尿をかける。

紙コップなどを受けて測定するときは、排尿直後、尿が温かいうちにセンサー部を尿につけ、かき混ぜるようにして測定します。

3 測定結果が表示される

尿を検出してから6秒後に「ピピピッ」と鳴って、3秒間測定値が表示されます。次に「」が点滅します。測定結果を振り返りたい場合は、P.28の「過去メモリを見る」を参照してください。

尿糖値

測定値(尿糖値)は尿1デシリットル(1dL=100mL)中に含まれる糖10ミリグラム(10mg=100分の1g)単位で表しています。

測定結果の最小表示は下記ようになります。

0-200mg/dLの範囲では、Loと200mg/dLの交互表示
 200-500mg/dLの範囲では、20mg/dL単位表示
 500-1000mg/dLの範囲では、50mg/dL単位表示
 1000-5000mg/dLの範囲では100mg/dL単位表示



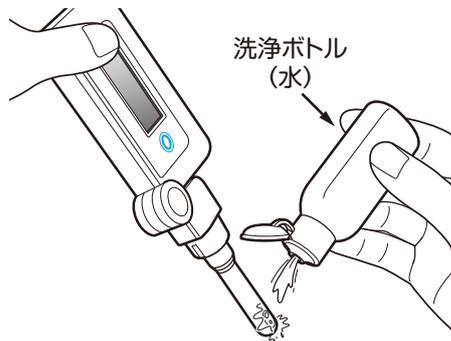
洗浄せずに収納しないでください。保存液が汚れ、正確に測定できなくなります。

*万一、洗浄しないで収納してしまった場合はただちに洗浄し、保存液ボトルの保存液はすべて入れ替えてください。その後、1分以上経ってから基準あわせをしてください。

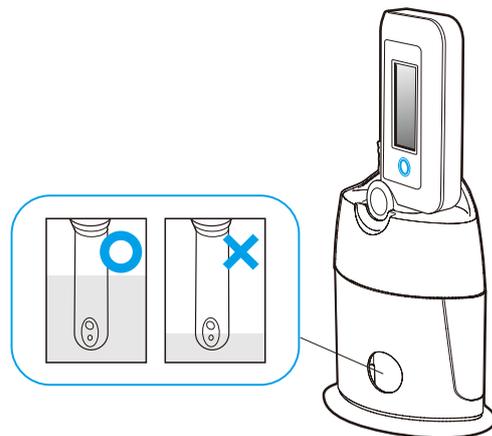
洗浄にあたってのご注意

- ・尿糖計本体は防水ではありません。特にセンサーカートリッジと本体の接続部に水がかからないように気を付けてください。
- ・トイレ内に水道の蛇口があるときは、直接水道水をかけて洗浄することができますが、水の勢いが強くなり過ぎないように気を付けてください。
- ・トイレ洗浄剤などが入っている水では洗浄しないでください。
- ・水道水が赤みを帯びているときや白濁しているときなどは、正確な測定ができなくなります。ろ過フィルターを通した水道水・蒸留水(薬局でお買い求めください)などをお使いください。
- ・水を入れた紙コップの中などでも洗浄できます。その場合は、センサー部がかき混ぜるようにしてください。

測定のしかた



- 4** ピッと鳴るまでセンサー部を洗浄する。
直接水道水をかけて洗浄するか、
付属の洗浄ボトルに水を入れ、洗い流します。



- 5** 尿糖計をスタンドに収納する。
収納するときには必ず保存液の量を確認しま
しょう。不足している場合は補充してください。

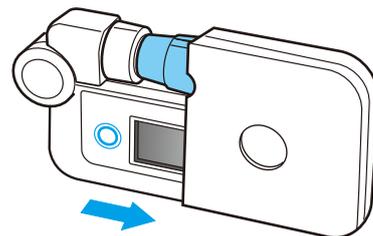
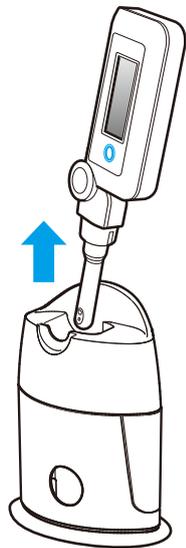
洗浄について

通常は約5秒かかります。洗浄を始める前に「」が点滅することがありますが洗浄は必ず行ってください。故障の原因となることがあります。

これで測定終了です。
連続して測定できません。
スタンドから尿糖計を取り出し、待ち時間を確認してください。

・次に測定するまで、60秒(1分)～1800秒(30分)お待ちください。
( P.31 待ち時間について)

尿糖計を持ち運ぶときは



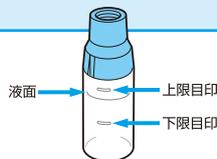
1 尿糖計をスタンドから取り出す。

2 スタンドの内ポケットから携帯用保存液ボトルを取り出し、センサーカートリッジに取り付ける。
携帯用保存液ボトルは垂直に持たないと中の保存液がこぼれますのでご注意ください。

3 尿糖計を折りたたんでカバーに入れる。

❗ 保存液の充填

保存液を交換する際は、ボトルに示されている上限の目印まで充填してください。上限を超えて入れるとボトルを取り付けた際に保存液があふれ出るのでご注意ください。使用していると、液が減ってきます。液面が下限の目印を下回ると、センサーが乾燥してしまうおそれがあるため、すみやかに保存液を充填してください。



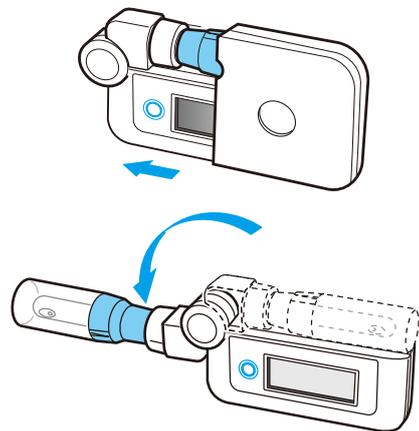
⚠ 注意

保存液の残量

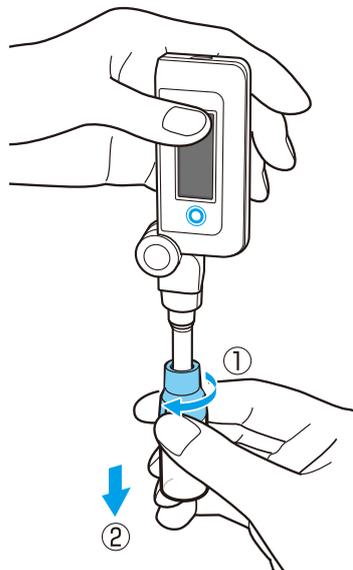
センサーカートリッジに付属している携帯用保存液ボトルにはセンサー部を常に濡れた状態に保つための保存液が充填されています。左図のように携帯用保存液ボトルが取り付けられている状態で、液面が常にセンサー上部を上回るように注意してください。



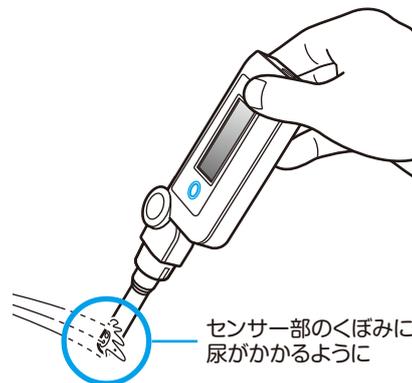
携帯時の測定方法



- 1** カバーから引き抜き、尿糖計を開く。
「8888」表示後、「0000」が点滅したら測定できます。



- 2** 携帯用保存液ボトルを外す。



- 3** 測定結果が表示される
紙コップなどに受けて測定するときは、排尿直後、尿が温かいうちにセンサー部を尿につけ、かき混ぜるようにして測定します。

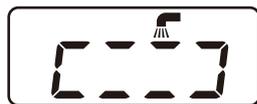
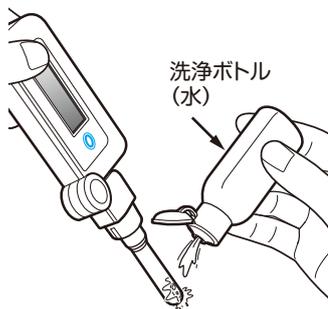
携帯用保存液ボトル

携帯用保存液ボトルは垂直に持たないと中の保存液がこぼれますのでご注意ください。外した携帯用保存液ボトルは、右図のようにカバーの丸穴に差し込んでおくと倒れにくいです。

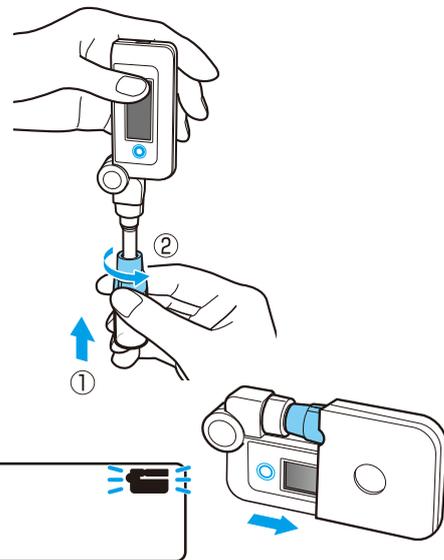




4 測定結果が表示される。
尿を検出してから6秒後に「ビピッ」と鳴って、3秒間測定値が表示されます。次に「」が点滅します。



5 センサー部を洗浄する。
「ビッ」と鳴るまで洗い流します。



6 携帯用保存液ボトルを取り付け、カバーに収納する。
「」が点滅したら収納してください。

洗浄について

通常は約5秒かかります。洗浄を始める前に「」が点滅することがありますが洗浄は必ず行ってください。故障の原因となることがあります。

これで測定終了です。
連続して測定できません。
尿糖計を開いて待ち時間を確認してください。

・次に測定するまで、60秒(1分)～1800秒(30分)お待ちください。
( P.31 待ち時間について)

センサーカートリッジ交換のタイミング

センサーカートリッジは本体に取り付けた日から90日以内に、300回の測定ができます。交換時期が近付くと、「」の点滅表示でお知らせします。センサーカートリッジは本体に取り付けたら、ご使用にならなくても90日後には使用できなくなります。

センサー交換予告

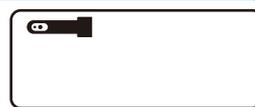
・寿命の7日前、または測定回数が残り20回で表示



センサーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいセンサーカートリッジを用意し、すみやかに交換してください。

センサー交換

・センサーの寿命です。



新しいセンサーに交換し、基準あわせをしてください。
( P.25)

センサー取付

次の準備

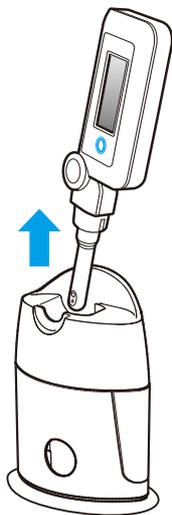
センサー取付



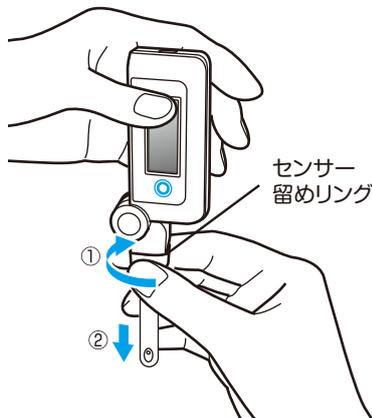
センサーカートリッジを収納せず15分間置いておくと、精度の保証ができません。次に使用するときには  が表示されます。センサー部を洗浄して収納し、1分以上待ってから基準あわせを行ってください。

センサーの精度が保証できないため、次回からは電源ON時に  が表示されます。すみやかにセンサーカートリッジを交換してください。

センサーカートリッジの交換

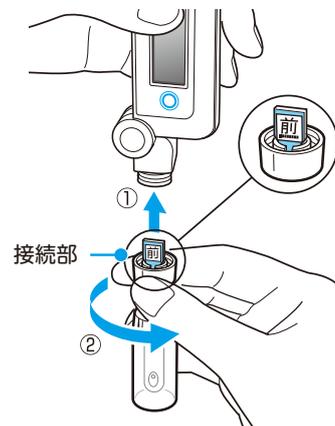


1 尿糖計をスタンドから取り出す。



2 センサーカートリッジを取り外す。

センサー留めリングを左に回し、
センサーカートリッジを取り外します。



3 新しいセンサーカートリッジを取り付ける。

P.13の「センサーカートリッジを取り付ける」
を参照し、センサーを取り付けてください。

センサーカートリッジの扱い

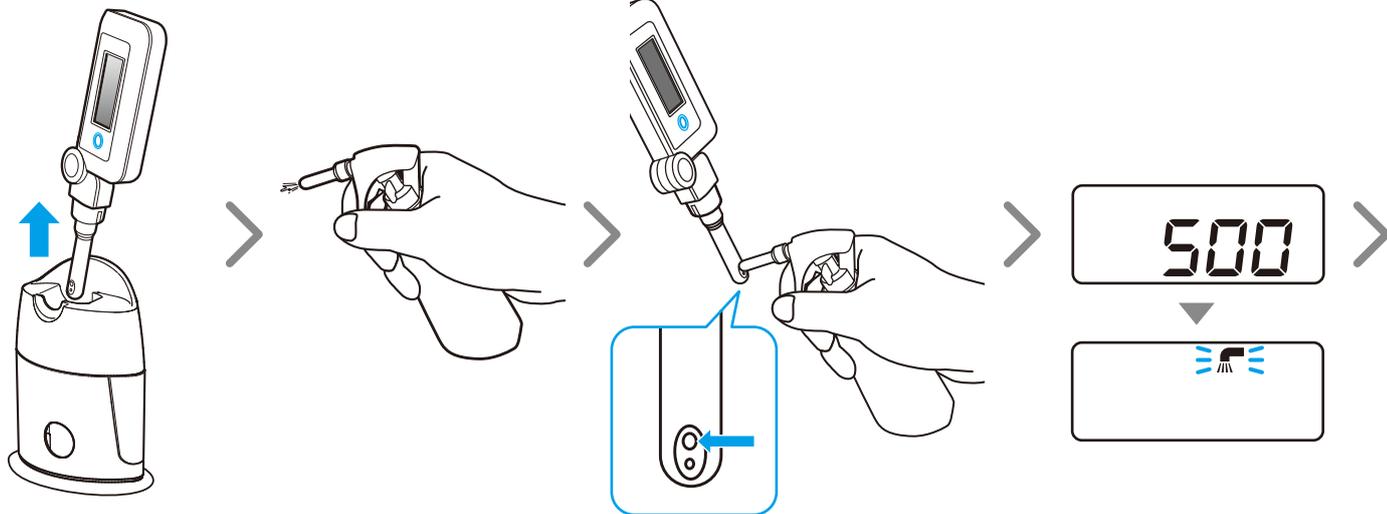
交換用のセンサーカートリッジは、この尿糖計をお買い求めの販売店でお求めいただくか、お客様サービス相談室までご連絡ください。新しいセンサーカートリッジが用意できたら、古いセンサーカートリッジを取り外してください。古いセンサーカートリッジは、各自自治体の廃棄・処理方法に従って捨ててください。

！ 保存液の扱い

センサーカートリッジ交換時は、スタンド用保存液ボトルの保存液も新しいものに入れ替えてください。交換前に、保存液ボトルを水洗いしてください。

測定精度の確認

センサーの精度を確認したいときは、基準液の測定を行ってください。



1 尿糖計をスタンドから取り出す。

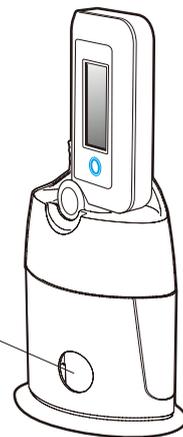
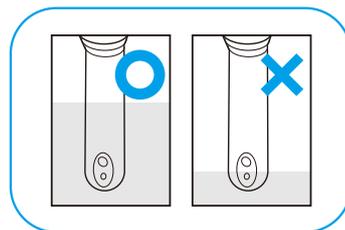
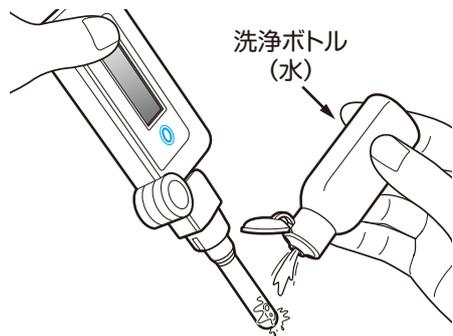
2 液が十分に出ることを確認する。
十分出ない場合は、3回ほど空打ちをしてください。

3 ピピッと鳴るまで、3秒間に3回を目安にしてふきかける。
センサー部のくぼみにノズルの先端を接触させ、トリガーを十分に引いてください。

4 測定値が表示される。
ピピッと鳴って測定値が表示されます。

測定精度

測定値が450～650の間であれば、精度が保たれています。これ以外の場合は、一度センサーを洗浄・収納します。60秒経過後に尿糖計のボタンを約3秒間長押しし、「」+「」を表示させ、P.15「基準あわせを行う」の手順2以降を参照し、再度基準あわせを行ってください。



5 ピッと鳴るまでセンサー部を洗浄する。

直接水道水をかけて洗浄するか、
付属の洗浄ボトルに水を入れ、洗い流します。

6 尿糖計をスタンドに収納する。

収納するときには必ず保存液の量を確認しましょう。
不足している場合は補充してください。

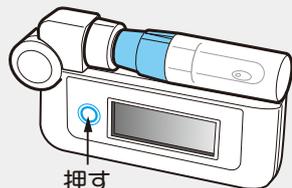
⚠️ 洗浄にあたってのご注意

- ・尿糖計本体は防水ではありません。特にセンサーカートリッジと本体の接続部に水がかからないように気を付けてください。
- ・トイレ内に水道の蛇口があるときは、直接水道水をかけて洗浄することができますが、水の勢いが強くなり過ぎないように気を付けてください。
- ・トイレ洗浄剤などが入っている水では洗浄しないでください。
- ・水道水が赤みを帯びているときや白濁しているときなどは、正確な測定ができなくなります。ろ過フィルターを通した水道水・蒸留水(薬局でお願い求めください)などをお使いください。
- ・水を入れた紙コップの中などでも洗浄できます。その場合は、センサー部分でかき混ぜるようにしてください。

これで測定終了です。
連続して測定できません。
スタンドから尿糖計を取り出し、
待ち時間を確認してください。

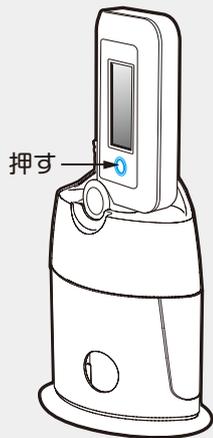
・次に測定するまで、60秒お待ちください。
(☞ P.31 待ち時間について)

過去メモリを見る



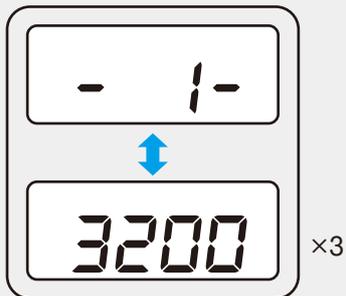
押す

or



押す

表示が消えている時にボタンを押すと、「-1-」と前回の測定結果が表示されます。



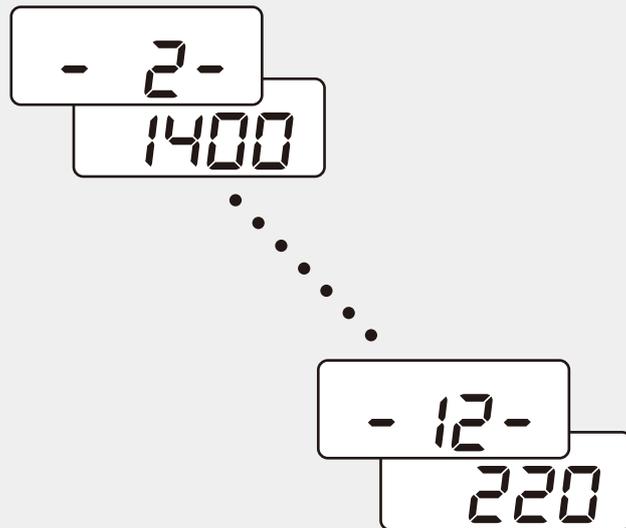
3回繰り返し表示すると、自動的に電源が切れます。

お知らせ

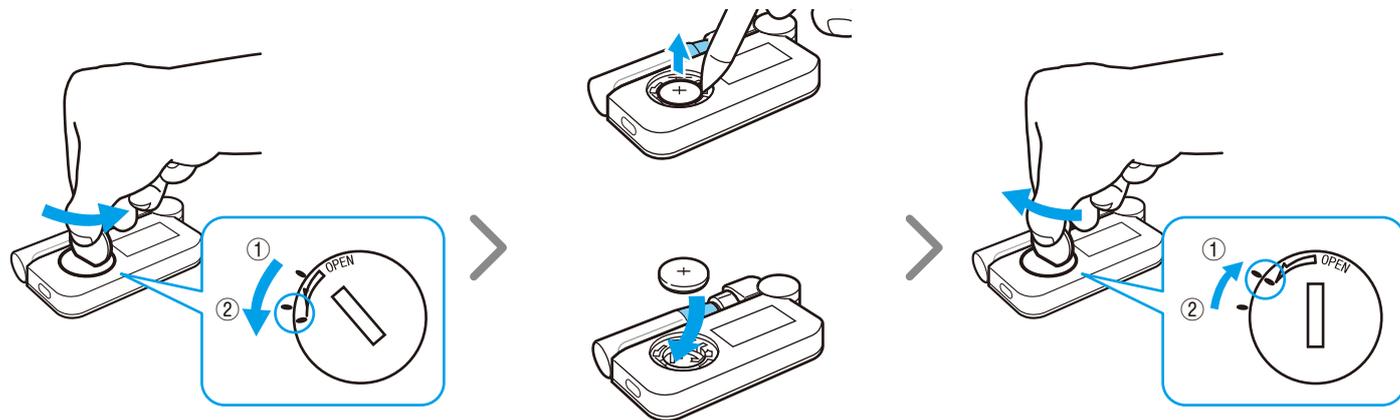
過去のデータがない場合は を
10秒間表示した後、消灯します。

前回の測定結果が表示されている間に再度ボタンを押すと「-2-」と前々回の測定結果が表示されます。

同様の操作を繰り返すことで12回分の履歴を確認できます。



電池の交換



1 電池カバーを外す。

電池カバーの溝に10円玉または100円玉を当て、電池カバーのマークが②をこえるようにまわします。

2 電池を交換する。

- ・先の細い物で電池を取り出します。
- ・センサー差し込み口は起こさないでください。
- ・電池は+が上になります。

3 電池カバーをつける。

電池カバーのマークが①に戻るように回します。

電池の交換時期

電池の寿命は約半年です。

* 付属のコイン形リチウム電池(お試し用)は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

表示部に「」の点滅が始まったら早めに新品の電池をご用意ください。

「」が点灯状態になると測定できなくなります。「」の点滅が出たら最初に電池をセットしたときと同じ操作で新品のコイン形電池(CR2032)1個と交換してください。この時、セット済みのセンサーカートリッジは絶対に外さないで下さい。

! 電池はむやみに外さない

電池交換をすると1分後に「基準あわせ」が必要になります。また、落下などの強い衝撃を尿糖計に与えると、瞬間的に電池が外れて、同じ状態になることがあるので気をつけてください。

故障かな？

次のような表示が出たときは、本書の指示に従って対処してください。

それでも問題が解決しない場合は、弊社お客様サービス相談室（☎0120-133821）までご連絡ください。

症状	ご確認ください
	測定値が5000mg/dLを超えています。
	測定値が200mg/dLを下回っています。
	測定時、尿が検出できませんでした。
	待ち時間を表示しています。 待ち時間を秒数で表示しています。この間は操作ができません。 待ち時間が経過してから操作してください。
	基準合わせ予告です。以下の場合に表示されます。 ・前回の基準合わせから7日経過あるいは25回使用した。 ・電源がついたまま15分以上放置した。 ・洗浄しないまま収納した。 基準合わせが必要です。そのまま測定できますが、早めに基準合わせを行ってください。
	基準合わせをしてください。以下の場合に表示されます。 ・センサーカートリッジ取付後/センサーカートリッジ交換後 ・電池交換後 ・前回の基準合わせから14日経過あるいは50回使用した。 基準合わせをしないと測定できません。すみやかに基準合わせを行ってください。
	基準合わせ時、基準液が正常に検出できませんでした。 センサー部を洗浄して収納し、1分以上待ってから操作してください。それでも「Err3」が表示される場合は、基準液、またはセンサーカートリッジを交換してください。

症状	ご確認ください
	センサーカートリッジの交換時期が近づいています。 新しいセンサーカートリッジを用意し、すみやかに交換してください。このとき、必ずスタンド用保存液ボトル内の保存液は新しいものに入れ替え、基準液トリガーボトルも新しいものを使用してください。基準液、保存液が古くなると正確に測定できなくなるおそれがあります。
	センサーカートリッジを交換してください。 センサーカートリッジを交換し、基準合わせをしないと測定できません。
	以下の場合に表示されます。 ・電源がついたまま15分以上放置した。 ・洗浄しないまま収納した。 センサーは乾燥や汚れに弱いのでお取り扱いにご注意ください。 センサー部を洗浄して収納し、1分以上待ってから基準合わせを行ってください。
	センサーに異常があるか、保存液が汚れています。 センサー部を洗浄して収納し、1分以上待ってから操作してください。保存液を交換し、それでも「Err1」が表示される場合はセンサーカートリッジを交換してください。
	周囲の温度が低すぎます。 センサー部を洗浄して収納します。 尿糖計を適正温度環境（5℃～40℃）に置き、1時間以上待ってから再度操作してください。
	周囲の温度が高すぎます。 センサー部を洗浄して収納します。 尿糖計を適正温度環境（5℃～40℃）に置き、1時間以上待ってから再度操作してください。
	保管中、周囲の温度が低すぎることがありました。
	保管中、周囲の温度が高すぎることがありました。

お手入れの方法

本体が汚れたとき	水を少量含ませ、よく絞った布やペーパータオルなどで拭き取ってください。
カバーが汚れたとき	カバーは取り外して水で丸洗いができます。洗浄後はよく乾かしてください。



- ・故障の原因となりますので、センサー部には触れないでください。
- ・本体は防水ではありません。センサー部以外が濡れたときは、乾いた布やペーパータオルなどで拭き取ってください。
- ・シンナーやベンジンを使わないでください。
- ・センサーカートリッジは交換時以外は取り外さないでください。

待ち時間について

基準あわせ後および測定後、以下の時間はご使用になれません。センサーを収納し、測定準備ができるまでお待ちください。

前回の測定値	待ち時間
基準あわせ後	30秒
1000mg/dL未満	60秒 (1分)
1000以上 2000mg/dL未満	180秒 (3分)
2000以上 4000mg/dL未満	900秒 (15分)
4000mg/dL以上	1,800秒 (30分)

毎日測って、上手にコントロール

毎日、同じタイミングで測定する

尿糖値は、前回トイレに行ってから尿糖を測定するまでの血糖の動きを反映しています。食前に排尿し、食後約2時間の尿で測定すると、食事による血糖上昇の程度とともに、血糖コントロールの良否を知る目安になります。

1回ごとの測定結果に一喜一憂せず、長期的な傾向をつかむことが大切です。毎日同じタイミングでトイレに行くようにして、同じタイミングで測定した尿糖値を比較するようにしましょう。

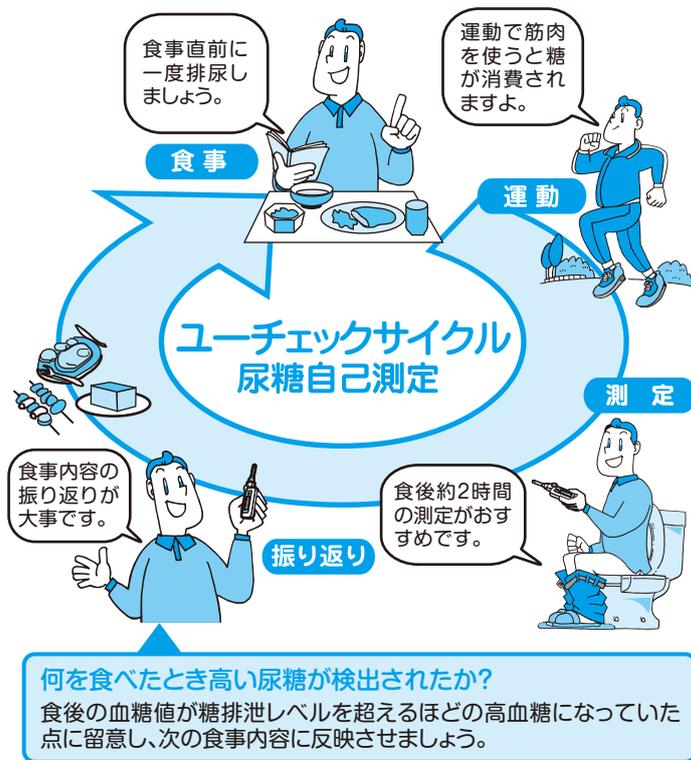


上手にコントロール

測定結果が、いつもより高かったり、低かったりしたときは、どうして、そうなったかを考える習慣をつけましょう。尿糖値の変動は食事の量や内容、運動、服薬の有無、体調などが関係しています。毎日測って、尿糖を上手にコントロールしましょう。

経口糖尿病薬の中でも、SGLT2阻害薬は尿中に高濃度の糖を排泄して血糖値を下げる薬ですので、尿糖値の見方については自己流では行わず、医師に相談してください。

ユーチェックサイクルのすすめ



何を食べたとき高い尿糖が検出されたか?

食後の血糖値が糖排泄レベルを超えるほどの高血糖になっていた点に留意し、次の食事内容に反映させましょう。

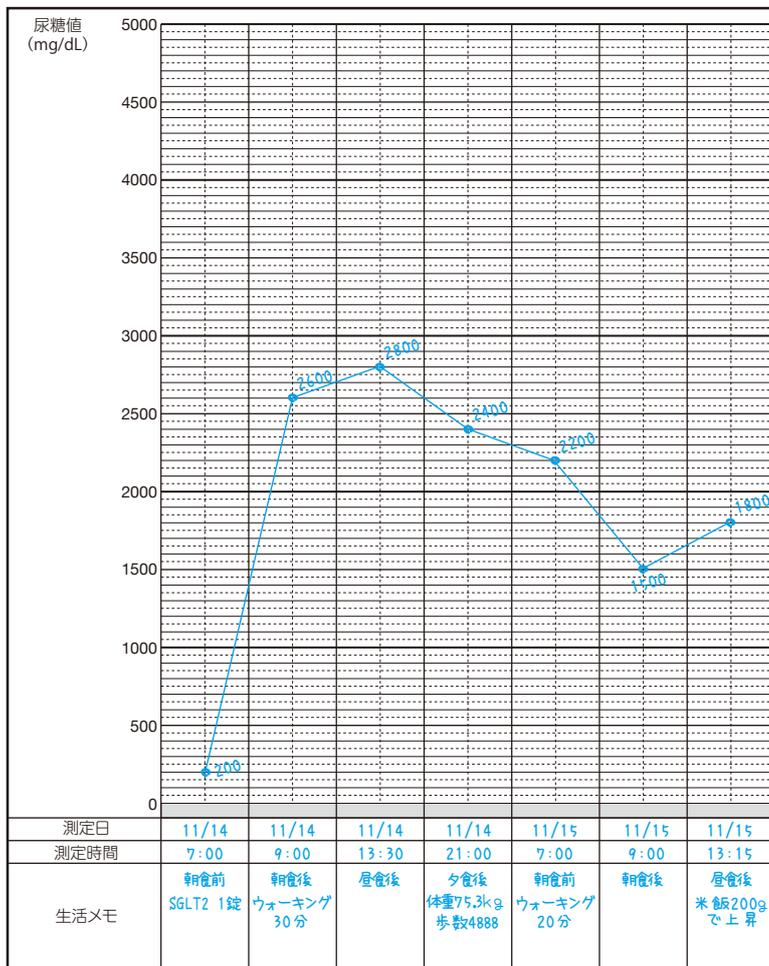
※ SGLT2阻害薬を服用しているときは、血糖値に関わらず尿糖値が高くなりますのでご注意ください。



測定結果を記録する

毎日、尿糖自己測定結果をグラフに残しておくことで、変化の傾向がわかりやすくなります。食事と運動に気をつけて、糖尿病の予防と治療に役立てるようにしましょう。

記入例



仕様

医療機器承認番号	22500BZX00202000
種別	機械器具19尿検査又は糞便検査用器具
一般的名称	電子尿糖計
医療機器分類	管理医療機器

販売名	タニタ電子尿糖計 本体 UG-130-H
表示方式・方法	LCDデジタル表示
測定対象・項目	尿・グルコース
測定方式	酵素電極法
測定時間	6秒
測定範囲	200～5000mg/dL
最小表示	200～500mg/dLまで20mg/dL ～1000mg/dLまで50mg/dL、～5000mg/dLまで100mg/dL
測定精度	CV ≤ 10% (500mg/dL グルコース標準液 25℃)
使用温度範囲	5～40℃
電源	DC3V コイン型リチウム電池 (CR2032) × 1個
消費電流	最大6mA (測定時)
電池寿命	約180日間 (1日3回測定の場合)
メモリー機能	最新12回分の測定値を記録
製品寸法	本体：D68×W118×H22mm スタンド：D94×W113×H140mm (台座含む)
製品質量	本体：約80g (電池含まず) スタンド：約132g (台座含む)
電撃保護	内部電源機器 B形装着部
主な材質	ABS
別売り	タニタ電子尿糖計 センサーカートリッジ UG-130-SW

※本製品は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

無料修理規定

- 取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、本器と保証書をお送りください。
- ご贈答品等で保証書に必要な事項が記入していない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 一般家庭以外 (例えば、業務用の長時間使用、船舶の搭載) に使用された場合の故障および損傷
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 消耗部品
- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

TANITA 保証書

販売店様へ

ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店様欄に捺印）をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理致します。

品名	タニタ電子尿糖計 本体 UG-130-H		
保証期間	本 体	お買い上げ日より 1年	
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	様	
	ご住所		
販売店	電 話	()	
	ご住所・店名		
販売店	電 話	()	㊞

アフターサービスについて

1. 保証書について（本体）

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げより1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、本器に保証書を添えてお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- センサーカートリッジや電池、溶液などの消耗品および付属品は保証対象外です。

3. ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

センサーカートリッジのお求めは、ご購入いただいた販売店もしくは弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリーダイヤル



0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。

携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル



0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00（土・日・祝祭日は除く）